

## 計算書類に対する注記（障害者支援施設事業拠点区分用）

## 1. 重要な会計方針

## (1) 固定資産の減価償却の方法

- ・ 建物、建物附属設備、構築物、機械及び装置、車輛運搬具、器具及び備品、ソフトウェア、権利一定額法
- ・ リース資産  
所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産  
リース期間を耐用年数とし、残存価格を零とする定額法によっている。

## (2) 引当金の計上基準

- ・ 退職給付引当金—一般財団法人滋賀県民間社会福祉事業職員共済会の実施する退職共済制度に加入している職員に係る掛金納付額のうち法人の負担額に相当する金額を計上している。
- ・ 賞与引当金—職員に対する賞与に備えるため、支給見込額のうち当年度に帰属する額を計上している。

## 2. 重要な会計方針の変更

該当なし

## 3. 採用する退職給付制度

退職給付制度は、独立行政法人福祉医療機構の社会福祉施設職員等退職手当共済制度及び、一般財団法人滋賀県民間社会福祉事業職員共済会の退職金制度によっている。

## 4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりになっている。

- (1) 障害者支援施設事業拠点計算書類（会計基準省令第一号第四様式、第二号第四様式、第三号第四様式）
- (2) 拠点区分事業活動明細書（別紙3(㉑)）
  - ア ステップ 広場が<sup>ル</sup>施設入所
  - イ ステップ 広場が<sup>ル</sup>ショートステイ
  - ウ 法人本部
  - エ いちばん星桐生
  - オ ステップ 広場が<sup>ル</sup>生活介護
- (3) 拠点区分資金収支明細書（別紙3(㉒)）は、省略している。

## 5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位:円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
建物	347,624,361	9,849,344	18,783,695	338,690,010
定期預金	1,000,000	0	0	1,000,000
合計	348,624,361	9,849,344	18,783,695	339,690,010

※待機所棟（コテナ）を基本財産へ科目変更した。

※建物の当期増加額は全額グループホーム拠点の待機所棟（コテナ）を移管したものである。

## 6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

## 7. 担保に供している資産

該当なし

## 8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位:円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
基本財産			
建物	799,155,767	460,465,757	338,690,010
小計	799,155,767	460,465,757	338,690,010
その他の固定資産			
建物	62,261,024	42,590,662	19,670,362
構築物	5,551,766	2,701,573	2,850,193
機械及び装置	5,290,500	5,290,496	4
車輛運搬具	3,443,400	3,443,397	3
器具及び備品	24,792,731	18,897,546	5,895,185
有形リース資産	16,137,600	5,330,040	10,807,560
小計	117,477,021	78,253,714	39,223,307
合計	916,632,788	538,719,471	377,913,317

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は、以下のとおりである。  
(単位:円)

	債権額	徴収不能引当金の 当期末残高	当期末残高
事業未収金	70,104,599	0	70,104,599
未収金	18,903	0	18,903
未収補助金	8,241,537	0	8,241,537
合計	78,365,039	0	78,365,039

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益  
該当なし

11. 重要な後発事象  
該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにする  
ために必要な事項  
該当なし